

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室「きらり」熊谷校		
○保護者評価実施期間	2024年 11月 1日		2024年 12月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	13名	(回答者数) 13名
○従業者評価実施期間	2024年 11月 1日		2024年 11月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数) 7名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 1月 11日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別療育だからこそそのSSTやコミュニケーションの楽しさを伝えられるところだと思います。積み重ねていくことの大切さを実感しながら、保護者の方との信頼関係も強化できます。	保護者の気持ちにしっかり寄り添うことを重視しています。不安や悩みを打ち明けてもらえる関係性を築くことを目標にしています。	評価表集計しておりますと、「教室からの情報発信」の方法に工夫を凝らして行くべきだと感じます。様々なSNSを使い分ける等、『保護者の方全員にご確認いただける手段』を模索しなければならないと感じます。
2			
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者の方からのコメントとして「いいえ」や「分からない」という回答が多くなっていることです。	ブログ更新やInstagramでの発信、教室掲示のみではお伝えしきれないと考えております。	どの発信をすると読んでいただけるかを分析しながら、全員のご利用者様に同じお伝え方をするのではなく、全員に伝えることを重視して発信していきます。
2			
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 子どものサポート教室「きらり」熊谷校

公表日 2025年 2月 15日

利用児童数 13名

回収数 13名

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	84%	8%	8%	0%	タイミングにより若干の壁を感じる	入退室の時間を決めさせていただき、時差を付けることで壁を回避します
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	100%	0%	0%	0%		現状維持ができるよう努めます
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	77%	15%	8%	0%	スペース的に少し雑多した環境に感じる	不要なものではある限り支援スペースには配置致しません。配置場所の見直しをしながら安全かつ合理的な環境を目指します
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	92%	0%	0%	8%	支援時の状況が不明のため分からない	日々の掃除、消毒、空調設備のフィルタークリーニングは定期的に行っております。保護者の皆様に発信する機会を作っていきます
適切 な 支 援 の 提 供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	92%	0%	0%	8%		ご利用いただいている皆様にご満足いただける支援を目指します
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	100%	0%	0%	0%		今後も継続して参ります
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	92%	8%	0%	0%		ご利用いただいている皆様にご満足いただける支援を目指します
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	100%	0%	0%	0%		今後も継続して参ります
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	100%	0%	0%	0%	分からない	保護者の皆様に理解を深めていただけるよう発信する機会を作っていきます
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	100%	0%	0%	0%	分からない	保護者の皆様に理解を深めていただけるよう発信する機会を作っていきます
	11 保育所や認定子ども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他の子どもと活動する機会がありますか。	53%	8%	8%	31%	活動が不明のため分からない	保護者の皆様のご希望を伺いながら必要性を見定めて参ります
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	100%	0%	0%	0%		今後も継続して参ります
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	100%	0%	0%	0%		今後も継続して参ります
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	54%	15%	0%	31%	活動実績が不明のため分からない	保護者の皆様に理解を深めていただけるよう発信する機会を作っていきます
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	100%	0%	0%	0%		今後も継続して参ります
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	100%	0%	0%	0%		今後も継続して参ります
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	100%	0%	0%	0%		今後も継続して参ります
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	23%	15%	8%	54%	活動実績が不明のため分からない	保護者の皆様のご希望を伺いながら必要性を見定めて参ります

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	100%	0%	0%	0%		今後も継続して参ります
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	100%	0%	0%	0%		今後も継続して参ります
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	77%	23%	0%	0%		保護者の皆様に理解を深めていただけるよう発信する機会を作っていきます
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	100%	0%	0%	0%		今後も継続して参ります
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	92%	0%	8%	0%		保護者の皆様に理解を深めていただけるよう発信する機会を作っていきます
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	84%	8%	0%	8%		保護者の皆様に理解を深めていただけるよう発信する機会を作っていきます
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	92%	8%	0%	0%		保護者の皆様に理解を深めていただけるよう発信する機会を作っていきます
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	100%	0%	0%	0%		今後も継続して参ります
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	100%	0%	0%	0%		今後も継続して参ります
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	100%	0%	0%	0%		今後も継続して参ります
	29	事業所の支援に満足していますか。	100%	0%	0%	0%		今後も継続して参ります

公表

事業所における自己評価結果

事業所名						公表日	2025年 2月 15日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	87%	13%	保護者が見学しやすいようになっている。	構造上、音や声を遮ることができないため、配慮が必要な利用者様の際は配置を変えることで対応します	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	100%	0%	支援に入らない職員がFB中の利用者対応ができるようにしている。	FB中の利用児童の兄弟、次の利用者も含めると、込み入った状態になることがあるため入室の時間設定でできる限りの密を避けます	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	87%	13%	支援ブースは集中して支援を受けられる環境になっている。	手洗い場に段差があるため、使用の際は職員が立ち会います	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%	できる限り毎日掃除を行っている。空調設備と空気清浄機フィルター掃除もこまめに行っている。	今後も継続して清潔を保ちます	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%	0%	空きスペースなども使いクールダウンできるようにしている。	空きブースを利用していただきます	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	87%	0%	未回答1 毎月定例会議があり目標の振り返りの場を持っている。	今後も継続して会議を行い個々の意識を強めます	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	87%	13%	毎年集計終了後に行っている。	今後も継続して集計して参ります。今年度より掲示のみでなくSNSでの発信を強化していきます	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	朝礼や業務分担会議の場で個々の意見をくみあげている。	今後も継続して参ります	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	50%	25%	未回答1 今後必要に応じて要検討。	発達支援研究所を第三者としている。必要に応じて保護者への発信を検討します	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%	年間で研修予定が組まれており対象職員は必ず受講しており資質向上を図れる環境となっている。	今後も継続して参ります	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	87%	13%	どの発信をすると読んでいただけるかを分析しながら、全員のご利用者様と同じお伝え方をするのではなく、全員に伝えることを重視して発信していきます。	来年度より実施予定となっております	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100%	0%	年一回のアセスメント実施の他、要望に応じて家庭連携支援を行っている。FBやモニタリングからもニーズの吸い上げを行っている。	今後も継続して参ります	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%	各指導員から支援時の様子を聞き取り、必要と思われる内容を上げてもらっている。	今後も継続して参ります	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	支援ファイルの裏表紙に個別支援計画作成を添付し確認しながらプログラムを立て支援に当たっている。	今後も継続して参ります	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100%	0%	その時の状況に合ったツールを使用している。支援前後の様子も見ながら利用者への理解に活かしている。	今後も継続して参ります	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%	ガイドライン、保護者の意向、本人の状況を踏まえ、支援内容を設定している。	今後も継続して参ります	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	50%	37%	未回答1 基本的に担当制ではないため、各指導員の視点からプログラムを立てている。必要に応じてチームで立案することもある。	支援に悩んだ時や気付きを感じた時には指導員間で相談しながら支援に当たっています。今後も継続していきます	

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	87%	0%	未回答1 常に指導員をローテーションし、支援記録を確認しながら固定化を防いでいる。	継続して積み上げたい課題へは内容を引き継ぎながら固定することもあります。基本的には固定化は行われません
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	75%	25%	小集団イベントを開催し、個別では見られない表情や言動を観察し、支援に活かしている。	今後イベントを増やすことを考慮しながら、個別療育・集団療育両面の活動内容を計画に盛り込みます
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	87%	13%	担当制ではないため、細かい支援内容の確認等は行わないが、朝礼終礼時に振り返りを行いながら連携を取っている。	担当制ではないため細かい支援内容の打ち合わせは行っていません。役割分担については朝礼終礼時に確認しています
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	87%	13%	担当制ではないため、細かい支援内容の確認等は行わないが、朝礼終礼時に振り返りを行いながら連携を取っている。	担当制ではないため細かい支援内容の打ち合わせは行っていません。役割分担については朝礼終礼時に確認しています
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	3日以内の記録入力を目安に、月明けに前月の記録チェックを行い、改善意識につなげている。	今後も月が明けてからの記録チェックはしっかりと行います
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	6ヶ月毎のモニタリングの他、必要に応じて見直しを行っている。	今後も期日を守り、見直し・作成を行います
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	主に児童発達支援管理責任者が出席している。状況に応じ、そのお子様の理解の深い指導員が出席している。	今後も適任者が出席をします。会議録の作成も継続します
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	74%	13%	未回答1 各役場の障害福祉課と連携し情報共有している。	利用中のお子様の通園される園への訪問を開始する予定です。情報共有しながら連携を強めたいと考えております
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	50%	25%	未回答2 必要に応じて対応している。	利用中のお子様の通園される園への訪問を開始する予定です。情報共有しながら連携を強めたいと考えております
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	37%	37%	未回答2 必要に応じて対応している。	保護者の方に意向確認しながら、情報共有を望まれる方は学校の方へご連絡し連携を図ります
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。			記入なし	記入なし
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。			記入なし	記入なし
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。			記入なし	記入なし
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	37%	26%	未回答3 必要に応じて対応している。	今後も連携を深めて行くことを検討していきます
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	13%	63%	要望に応じて交流を検討。	保護者の方に意向確認しながら、要望が多いようなら交流の機会を検討します
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	FB時に近況確認を行い、職員間で情報共有している。	今後も情報共有を怠ることなく継続して参ります
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	37%	50%	未回答1 必要に応じて家族支援を行っている。	ご家族の方向けの研修は行っておりません。保護者の方から相談希望がある場合はできる限り即日対応しています。指導員がいつもと違う様子を感じた時も、こちらから声をかけてお話しする機会を作っています
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	契約時に詳細説明している。その後も質問には都度対応している。	今後も継続して参ります	
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%	モニタリング時、保護者ニーズを確認している。	今後も継続して参ります	

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100%	0%	最新の個別支援計画は、一項目ずつ確認していただいた上でご署名いただいている。	今後も継続して参ります
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	6ヶ月毎のモニタリングの際にお話を伺うと共に、必要性に応じて不定期でも対応している。	定期的なモニタリングは行っています。保護者の方から相談希望がある場合はできる限り即日対応しています。指導員がいつもと違う様子を感じた時も、こちらから声をかけてお話しする機会を作っています
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	37%	63%	要望により、今後検討する。	保護者の方に意向確認しながら、交流イベントを希望される声が多いようなら、開催を検討します
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	保護者から相談のご要望があった場合は、時間を空けずその場で対応している。保護者の方の都合が合わない場合のみ、後日で設定している。	保護者の方から相談希望がある場合はできる限り即日対応しています。指導員がいつもと違う様子を感じた時も、こちらから声をかけてお話しする機会を作っています
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%	ブログ、インスタグラムは定期更新している。休業やイベントのお知らせはブログ、インスタグラム、紙ベース、LINEで発信している。	月2回以上のブログ更新、月3回のインスタグラム更新をしております。もう少し浸透を濃くしていきたいと考えております。教室掲示やLINEでの補足等を検討しています
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	十分に注意を払って取り扱っている。	今後も怠ることなく継続して参ります
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	利用者の意思はしっかりと汲み上げられるよう工夫し続けている。	今後も怠ることなく継続して参ります
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	37%	63%	地元の祭り等イベントに協力しながら行っている。	地域の方を招待するようなイベントは開催しておりません。必要性があれば検討いたします
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定するとともに、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%	各マニュアルは見やすくファイリングしてある。	今後もしっかり書類管理して参ります
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	87%	0%	未回答1 定期的な研修を行い、訓練を予定・実施している。	法定研修は職員全員出席、各委員会は担当職員が出席し、教室周知を継続して参ります
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	87%	13%	てんかん発作の可能性のある利用者からは、詳細を伺うと共に、近々の発作状況の確認を行っている。	現在、いただいている情報で持病をお持ちの利用者様に対しては、フェイスシートを取るタイミングで病状や投薬状況の確認をしています
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	37%	50%	未回答1 食事摂取がないため、行っていない。必要に応じて検討。	今後必要に応じて検討します
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	定期的な研修を行い、訓練を予定・実施している。	委員会担当職員が出席し、教室周知を行っています。今後も継続して参ります
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	74%	13%	未回答1 今後、要検討。	SNSの発信により、周知を強化できると考えられるため検討中です。LINEでの発信を予定しています
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	0%	ヒヤリハット事例は、報告書を作成し、回覧で確認すると共に、朝礼終礼で状況確認や今後の再発防止に努めている。	小さな「ヒヤリ」も報告書作成するようにしました。小さな気付きが大きな事故防止に繋がると信じ今後も継続して参ります
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	法廷研修として職員全員で参加している。	法定研修は職員全員出席、各委員会は担当職員が出席し、教室周知を継続して参ります
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	87%	0%	未回答1 考えられる状況を説明し、安全確保のための身体拘束と言う旨で説明している。	「身体拘束に関する同意書」にご同意いただく際、「お子様の安全確保のための身体拘束であること」の説明を行いました。個別支援計画にも記載してあります	